

1999 年度 経済原論 : 期末試験

2000 年 2 月 7 日(月)実施

< 解答・採点基準 >

[第1問]

支配戦略 条件

自民党 少ない $a > b$ かつ $\alpha > 0$

多い $a < b$ かつ $\alpha < 0$

民主党 少ない $a > b$ かつ $\alpha > 0$

多い $a < b$ かつ $\alpha < 0$

$a < b$ かつ $\alpha < 0$

均衡における利得 (0,0)

$a < b$ かつ $\alpha < 0$ になるような数値例。

$a > b$ かつ $\alpha < 0$ 、または、 $a < b$ かつ $\alpha > 0$ を満たすような数値例。

[第2問]

価格: $\frac{A-B}{a+b}$ 、取引量: $\frac{bA+aB}{a+b}$

供給曲線は縦軸 (価格) と A/a で交わる。

需要曲線は縦軸 (価格) と $-B/b$ で交わる。

[第3問]

上級財 (正常財): 所得が増加したときに消費が増えるような財。

下級財 (劣等財): 所得が増加したときに消費が減るような財。

代替効果: 労働供給増加

所得効果: 余暇が上級財であれば労働供給減少

: 余暇が下級財であれば労働供給増加

したがって、

余暇が上級財の場合: 代替効果 > 所得効果であれば、労働供給増加

: 代替効果 < 所得効果であれば、労働供給減少

余暇が下級財の場合: 労働供給増加

賃金が低下するのと同じ影響がある。

第一法則:

第二法則:

[第4問]

「限界利潤 = 限界売上 - 限界費用」が 0 になるケースが利潤最大。

限界売上 = 5000

限界費用 = 1000H

したがって、 $H=5$

このとき、 $R=25000$ 、 $C=12500$

したがって、利潤は 12500

限界売上と限界費用が不変なので、最適コマ数は と同じ。

利潤は固定費用分だけ少なくなるので 2500。

12500

[第5問]

危険回避的な場合には、直線よりも上側に膨らんだ形状となる。

危険愛好的な場合には、直線よりも下側に膨らんだ形状となる。

< > 危険回避

< > 危険愛好

< > 危険愛好

所得・資産が少ないときには下側に膨らみ、多くなると上側に膨らんだ S 字型となる。